

開会のご挨拶

7月28日に発生しました、令和8年熊本地震により亡くなられた方々に、謹んでお悔み申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。皆さまが一刻も早く日常に戻れますよう、祈念しております。

東北大学災害科学国際研究所は、災害科学研究と防災実践を推進しながら、皆さまがよりよい復興に向かわれることをお祈りするとともに、全力で支援して参ります。

本日、地震発生から3日後での、令和8年熊本地震調査解析の速報会を開催いたします。

被害の全容がまだ明らかにならない状況です。地域の皆様をはじめ、夜を徹して、現在も救命・救助活動に取り組んでおられる方々がいらっしゃいます。

そのような中で、災害科学の研究者が貢献できることは決して多くはありません。大規模な現地調査を行える状況でもありません。ただ、私たちができることは、あらゆる方法でデータ・情報を収集し、地震のメカニズム、揺れや地殻変動状況の理解、データに基づく被災地の被害に関する状況の分析、災害医療に関する分析、そして地域の重要な文化財への影響など、災害研がもつ研究力を総動員して明らかにし、結果をできるだけ早く、皆様と共有させていただくことだと考えました。

本日は、被災地の大学である熊本大学の先生方にもご参加いただき、これまでに分かったこと、今後の課題などを共有いただきます。

本日の報告会が、少しでも、地域の方々、現場で対応・活動されている皆様への有用な情報になればと願い、開会挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年7月31日
東北大学災害科学国際研究所所長
越村俊一